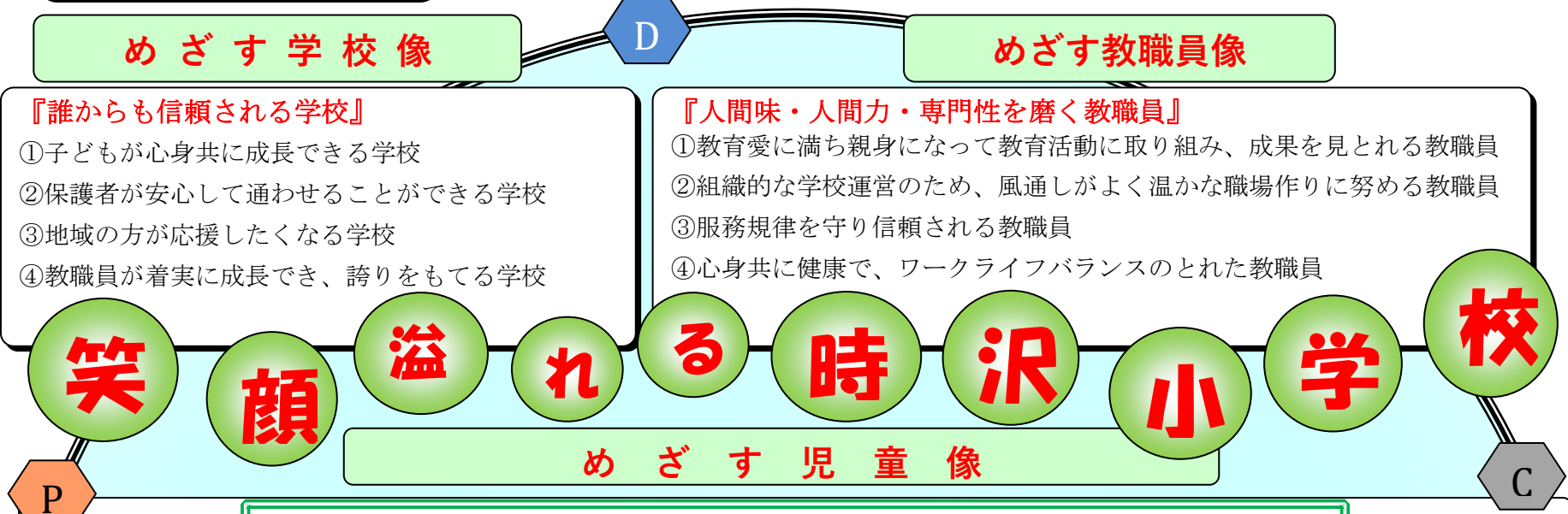


群馬県教育振興基本計画
「たくましく生きる力をはぐくむ」
～自らの可能性を高め、互いに
認め合い、ともに支え合う～

まえばし学校教育充実指針
「多様な人と協働しながら、主体
的・創造的に活動する子ども

学校教育目標 【ミッション 使命】

「人権感覚が高く、主体的・協働的に学ぶ、
心身のたくましい児童の育成」



自分と周りの人を大切にする子

◎誰もが安心して生活できる学校づくり

○不登校やいじめ等の問題行動の未然防止と早期発見、及び組織を生かした早期対応・早期解決
○特別支援学級の児童及び普通学級に在籍する特別な支援を要する児童に対する特別支援教育の充実を組織的に図る
○学級・学年集団を中心に、「自己・集団決定の場」「自己・集団存在感」を与え、「共感的な人間関係」を育成するとともに、「自己・集団肯定（有用）感」を高め、「自己・集団指導能力」の向上を図る
○校内における感染症予防及び拡大防止のための衛生管理の徹底を図る

自ら進んで友だちと協力して学ぶ子

◎主体的・対話的で深い学びにむけた授業づくり

○ゴールとなる目指す子どもの姿を明確にイメージした授業づくり・授業改善
○児童が主体的に取り組むための課題設定の工夫と考えを広げ深める協働的な学習の場の工夫
○学習指導要領の理解と「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用した授業の推進
○研究授業や一人1授業を通じた、授業改善

体を鍛え、チャレンジし続ける子

◎健やかな体と心の育成

○組織（体育部・各学年・学年ブロック等）を生かして「運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に運動に取り組む児童の育成」を図る
○学習指導要領の理解と「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用した授業の推進
○運動できる時間・空間・仲間の確保を通じた、身体活動量＜強さ×時間＞の増加に向けた取り組みを図る

仲間と心・力をあわせます！

①自分から「おはよう」「さようなら」を言います。
②いじめは絶対にしません。
③友達と力をあわせて、がんばります。
④友達に「さん・くん・ちゃん」をつけてよびます。
⑤自分で考えて行動します。
⑥そうじがしっかりできます。
⑦「ありがとう」「ごめんなさい」が言えます。

進んで学びます！

⑧学習に集中して取り組みます。
⑨先生や友達の話最後まで聞きます。
⑩自分の考えをはっきり最後まで言います。
⑪チャイム着席をします。
⑫宿題をしっかりとします。
⑬本をたくさん読みます。
⑭返事は「はい」と言います。

心と体をきたえます！

⑮朝食をしっかり食べます。
⑯登校班でなかよく、安全に登校・下校します。
⑰外遊びをたくさんします。
⑱給食をしっかり食べます。
⑲安全ルールを守ります。
⑳何事も最後までがんばります。

【学校経営上の基本方針】

1 子どもの生命・身体・安全確保は、何事にも優先される。
○危機管理を徹底し、子どもたちを守り抜く覚悟をもつ。
○いじめから子どもを守る。学校生活に起因する不登校を出さない。

2 子ども一人一人を大切に、子どもの成長に責任をもつ。
○児童理解 共感的人間関係の構築 → まずは、子どもの話にしっかり耳を傾ける。
○授業力の向上 → 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりを実践する。
体力向上、運動を楽しむ態度、運動能力の向上を図る。
○集団育成力の向上
「自己決定・集団決定の場」を設け、「自己肯定感（有用感）」「自己・集団指導能力」を高める。

3 組織として機能させる。
○「報告・連絡・相談・議論そして連携」ができる、職場作りに努める。
○教え合い、学び合い、教職員全員で指導力向上を目指す。

4 教職員であることの喜び・楽しみを常に意識し、心身共に健康な状態で仕事に取り組む。
○子どもを笑顔に、保護者を笑顔に、地域を笑顔に、同僚を笑顔に → 自分を笑顔に
○「得意を生かす」、「協働する」、「高め合う」
○働き方改革の徹底 → 子どもと向き合う時間の確保と自分自身の成長を図る。
○見通しと準備が子どもたちの成長を大きく促す。

組織運営と働き方改革

○各学年や学年ブロック、分掌を機能させた組織運営の充実を図る。
○風通しがよく、協働しやすい職場環境の構築、及び職場の心理的安全性の向上を図る。
○「目的」の明確化・意識化、プライオリティと見通しをもって準備すること、及び ICT の活用や会議の精選による業務改善と勤務時間の適正化を図る。
(総労働時間の縮減と時間外勤務：月45時間以内を目指す取組)

地域との連携の充実

・児童が地域から学ぶための環境づくり(地域行事への参加、外部人材・組織の活用)
・学校を知ってもらうための地域への積極的な情報発信